

# 平成30年度 百合丘高等学校 年間指導計画

教科・科目	芸術・美術 I	学年	第1学年	教科書	光村図書 美術1
		単位数	2単位	副教材	

学習目標	美術の幅広い創造活動を通し、美術体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。
------	---

学習方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>○感じ取ったことや考えたこと、夢や夢想などから主題を生成します。</li> <li>○表現形式の特性、形や色彩などの造形要素の働き考え、創造的な表現の構想を練るようにします。</li> <li>○意図に応じて材料や用具の特性を生かすようにします。</li> <li>○表現を工夫し、主題を追及して表現するようにします。</li> <li>○美術作品や自他の作品のよさや美しさ、作者の心情や意図を感じとり言語で説明できるようにします</li> </ul>
------	---

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨	
	a	美術への関心・意欲・態度	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	
b	発想や構想の能力	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し創造的な表現の構想を練っている。		
c	創造的な技能	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫して表している。		
d	鑑賞の能力	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。		

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法		
					a	b	c	d				
前期	A表現(2) デザイン B鑑賞	16	スケッチブックのデザイン 自分のマークを作る	課題の把握と発想・構想	○				a:日常生活の中で目にするデザインについて興味を持ち、デザインの役割について関心を持つとともに、技法や材料、用具の特性を主体的に活かし、計画や手順を吟味しながら制作の見直しを持って表現しようとしている。 b:主題について理解を深め、素材や表現形式の特性と、形や色彩、質感などの造形要素の働きを考え、創造的な構想を練っている。 c:効果的な表現方法を創意工夫し、目的や意図に基づいて、計画や手順を吟味し、制作の見直しをもって表現している。 d:制作された作品のよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、その特徴を捉えて分析するなどして、作品に対する見方や感じ方、考え方などをもち、理解している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動観察</li> <li>・アイディアスケッチ</li> <li>・作品</li> <li>・作品レポート</li> <li>・鑑賞</li> </ul>		
			制作			○	○					
後期	A表現(1) 絵画・彫刻 B鑑賞	12	スケッチブックのデザイン 自分の名前をデザインする	課題の把握と発想・構想	○				a:日常生活の中で目にする文字について興味を持ち、文字の形や色による印象の変化に関心を持つとともに、技法や材料、用具の特性を主体的に活かし、計画や手順を吟味しながら制作の見直しを持って表現しようとしている。 b:主題について理解を深め、素材や表現形式の特性と、形や色彩、質感などの造形要素の働きを考え、創造的な構想を練っている。 c:効果的な表現方法を創意工夫し、目的や意図に基づいて、計画や手順を吟味し、技法の特性を生かした制作を行っている。 d:文字の形や色によるよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、その特徴を捉えて分析するなどして、作品に対する見方や感じ方、考え方などをもち、理解している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動観察</li> <li>・アイディアスケッチ</li> <li>・作品</li> <li>・作品レポート</li> <li>・鑑賞</li> </ul>		
			制作			○	○					
後期	A表現(1) 絵画・彫刻 B鑑賞	4	人物クロッキー	人体の構造、観察	○	○	○		a:人間について興味を持ち、デザインの役割について関心を持つとともに、技法や材料、用具の特性を主体的に活かし、計画や手順を吟味しながら制作の見直しを持って表現しようとしている。 b:主題について理解を深め、素材や表現形式の特性と、形や色彩、質感などの造形要素の働きを考え、創造的な構想を練っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動観察</li> <li>・作品</li> </ul>		
			静物デッサン	課題の把握と発想・構想	○						a:身近な物の構造や質感に関心を持ち、主体的に主題を生成し、形体、色彩、構成などを創意工夫して構想を練ろうとしている。 b:主題を効果的に表現するために表現形式の特性を生かし、形体、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。 c:表現したい意図を大切に、より効果的な表現方法を選択・活用するなど創意工夫し、主題を追及して表現している。 d:制作された作品のよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、その特徴を捉えて分析するなどして、作品に対する見方や感じ方、考え方などをもち、理解している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動観察</li> <li>・アイディアスケッチ</li> <li>・作品</li> <li>・作品発表</li> <li>・鑑賞</li> <li>・紹介文</li> </ul>
				制作			○	○				
後期	A表現(1) 絵画・彫刻 B鑑賞	20	塑像 本物そっくりの 文房具を作る	課題の把握と発想・構想	○				a:技法や材料、用具の特性や効果を主体的に生かし、計画や手順を吟味しながら制作の見直しを持って表現しようとしている。 b:主題を効果的に表現するために表現形式の特性を生かし、形体、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。 c:効果的な表現方法を創意工夫し、目的や意図に基づいて、計画や手順を吟味し、制作の見直しをもって表現している。 d:モチーフとなった身近な物の形の美しさを感じ取り、その特徴を捉えて分析するなどして、作品に対する見方や感じ方、考え方などをもち、理解している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動観察</li> <li>・アイディアスケッチ</li> <li>・作品</li> <li>・作品発表</li> <li>・鑑賞</li> </ul>		
				制作			○	○				
合計時数(55分授業)		64										